

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓太	電話番号	0852-22-6776
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	県立美術館事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	美術に対する県民の興味や関心が高まる	
事業概要	平成11年3月に開館した県立美術館において、企画展・常設展の実施、教育普及活動、調査研究等の美術館活動を実施し、県民の文化活動の拠点とする。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	美術館入館者数	目標値	240,000.0	240,000.0	240,000.0	240,000.0	人
			取組目標値					
	式・定義	入館者数	実績値	227,657.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	378,952	391,228
うち一般財源 (千円)	320,925	304,789

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成26年度は開館以降、過去最低の入館者数であったが、平成27年度は誘客できる企画展や県民の要望に沿った企画展を開催した。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成27年度の入館者数は対前年度比14%増、企画展・常設展の観覧者数は同47%増となった。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

目標値24万人未達成

②困っている状況が発生している「原因」

企画展内容の県民への訴求力低下

③原因を解消するための「課題」

県民の要望に沿った企画展の開催

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

先導的な企画展や啓蒙的な企画展だけでなく、誘客できる企画展や県民の要望に沿った企画展を開催し、総合的に美術に関する知識及び教養の向上を図る。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)